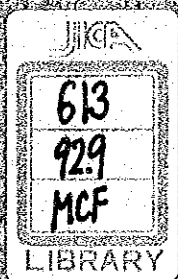


# ホンデュラス国看護教育強化プロジェクト 実施協議調査団報告書

平成2年8月

国際協力事業団  
医療協力部



医	協
J	R
90	38



JICA LIBRARY



1090747(5)

22482



ホンデュラス国看護教育強化プロジェクト  
実施協議調査団報告書

平成2年8月

国際協力事業団  
医療協力部

国際協力事業団

22382

## 序 文

ホンジュラス国は、地域住民への医療保健サービスの充実及び乳幼児死亡率の低下を図ることを同国の基本的保健衛生政策として推進している。かかる地域住民、とりわけ、農村地域の住民に対する保健医療サービスの担い手は、簡易・地域保健所に勤務する医師、看護婦であり、特に、上記農村地域では准看護婦が住民の保健衛生について大きな役割を担っている。しかしながら、看護婦の人的資源の不足、また、その技術水準の低さから地域住民の保健ニーズに十分に対応できないのが現状である。

かかる背景から、同国は我が国に対して、看護教育の強化を目的に、厚生省管轄の准看護婦教育学校および、国立自治大学看護学部を中心に、プロジェクト方式技術協力を要請越した。

これを受けて、国際協力事業団は平成元年12月に事前調査団を派遣し、協力実施の可能性につき調査し、その後、平成2年4月、長期調査員を派遣し、更に、協力内容の詳細につき調査を実施した。これらの調査結果を受けて、平成2年8月9日から19日まで、協力実施にむけて先方と協議すべく実施協議調査団を派遣した。

本報告書は、本調査団が本件協力につき、先方政府と協議、及び調査を行った結果について取り纏めたものである。

ここに、調査団の派遣にあたり、ご協力いただいた関係各位に対して、深甚なる謝意を表するとともに、今後、プロジェクトの発展にむけて更なるご指導とご鞭撻をお願いする次第である。

平成 2 年 8 月

国際協力事業団

理事 西野世界

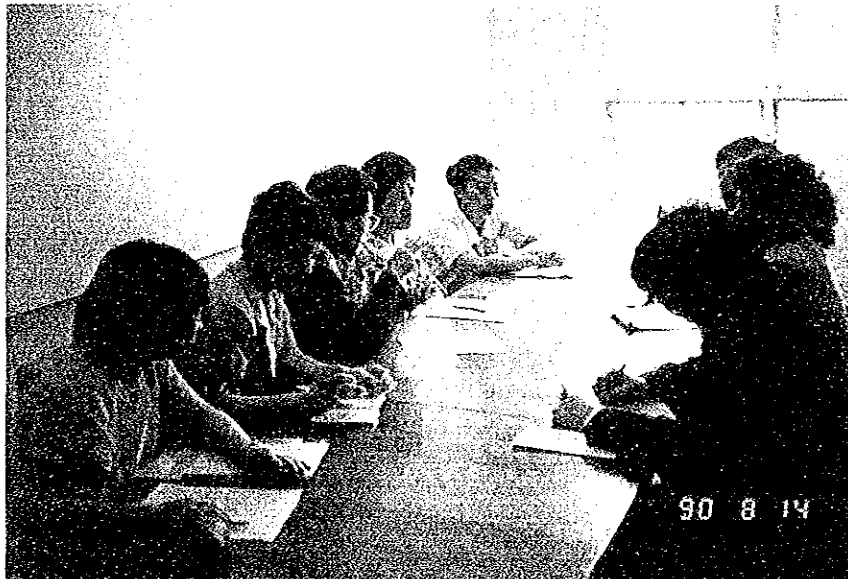






討議議事録等署名交換

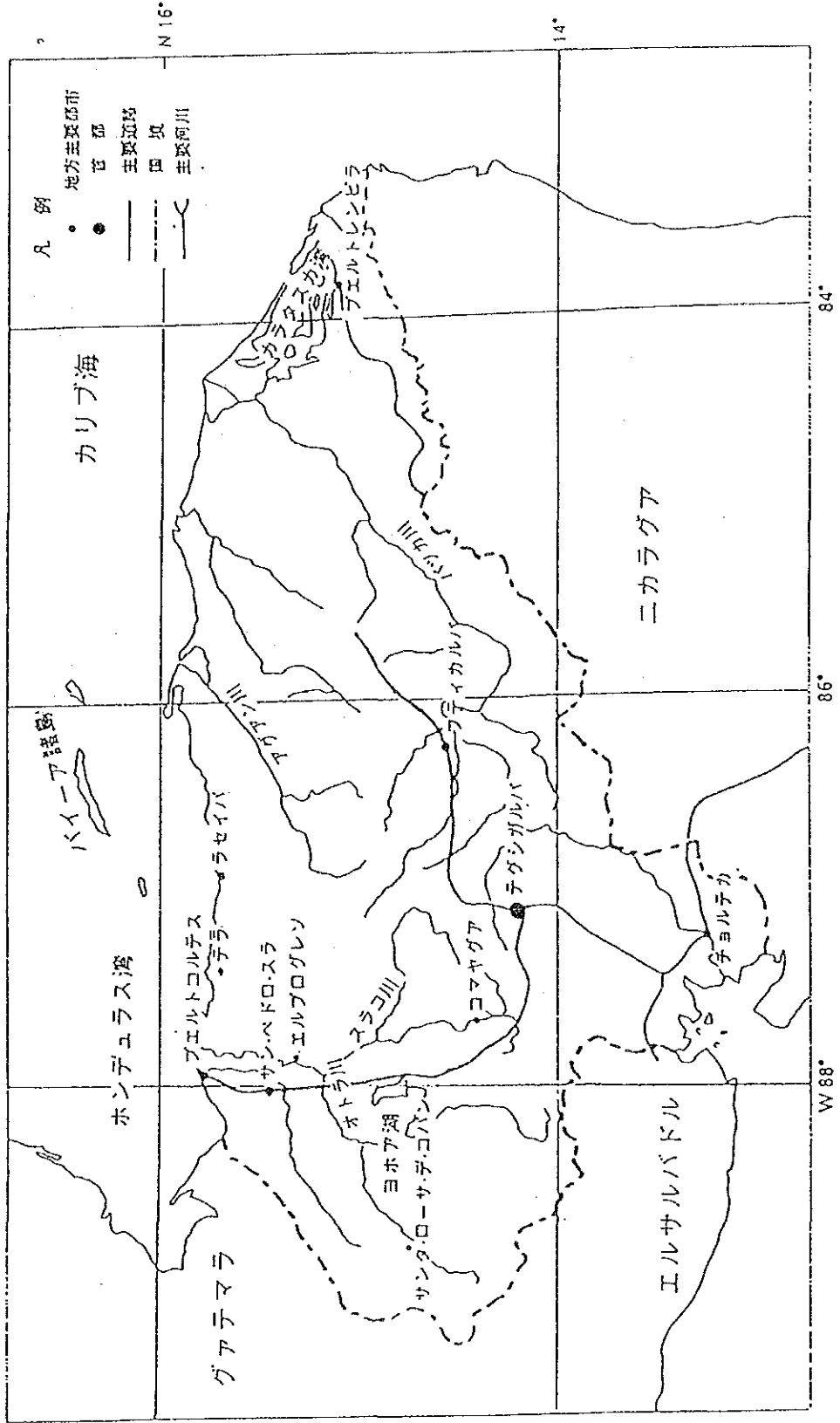
(左より、Jose Ramon厚生省副大臣、Cesar厚生大臣、矢野団長)



国立自治大学看護学部との協議



ホンデュラス国地図





# 目 次

1. 実施協議調査団の派遣	1
1-1 調査団派遣の経緯と目的	1
1-2 調査団の構成	1
1-3 日 程 表	2
1-4 主要面談者	3
2. 要 約	4
3. 討議議事録の交渉経緯	6
3-1 交渉経緯	6
3-2 討議議事録等	7
3-3 討議議事録等の訳文	32
4. プロジェクト実施上の留意点	35
4-1 実施体制	35
4-2 実施計画	36
5. その他特記すべき事項	37
附属資料	38
1. 新聞報道	38
2. ホンデュラス国保健医療統計（世界子供白書より）	39



## 1. 実施協議調査団の派遣

### 1-1 調査団派遣の経緯と目的

ホンデュラス共和国は、国民、とりわけ農村地域住民に対する保健医療サービスの充実、及び乳幼児死亡率の低下を図ることを国家基本保健医療政策として掲げており、かかる農村地域での保健医療サービスの担い手は地域保健所に勤務する医師並びに看護婦であるが、多くの地域では准看護婦が予防接種、栄養失調対策、衛生指導等にわたる幅広い公衆衛生活動を行っており、地域での保健医療サービスの中核的役割を果たしている。しかしながら、同国では、上記役割を担うこれら看護婦の絶対数の不足及び技術レベルの低さから、地域住民の保健医療ニーズに十分に対応できないでいるのが現状である。

かかる背景から、同国は、看護婦の絶対数不足の解消、及びその質的向上を社会的要請としてとらえ、看護教育強化を目的に、厚生省所管の准看護婦養成学校、並びに国立自治大学看護学部（正看護婦教育）でのプロジェクト方式技術協力を我が国に要請越した。

これを受けて、国際協力事業団は、平成元年12月に事前調査団を派遣し、要請背景及び内容を調査するとともに、平成2年4月に長期調査員の派遣を通じて、更に詳細調査を実施した。

今回の実施協議調査団は、上記調査の結果を踏まえ、本プロジェクトの開始にあたり、先方との実施にかかる協議を行ない、討議議事録の締結及び暫定協力計画の策定を目的に派遣されたものである。

### 1-2 調査団の構成

	氏 名	分 野	所 属 先
団長	矢野正子	総括	厚生省健康政策局看護課課長
団員	菅原能子	看護教育	前サンタクルス総合病院プロジェクト看護専門家
団員	井手信	公衆衛生	聖マリア学院短期大学教授
団員	浅野寿夫	協力計画	国際協力事業団医療協力部医療協力課

1-3 調査団の日程

月 日	時間	日 程
8 / 9		東 京 ⇨ メキシコシティ (移動)
8 / 10		メキシコシティ ⇨ テグシガルパ
8 / 11	午前 午後	厚生省との打合せ J I C A事務所との打合せ (井手団員のみフティカルパ市サンフランシスコ病院視察)
8 / 12		資料整理 (矢野団長合流)
8 / 13	午前 午後	厚生省副大臣表敬 国立自治大学看護学部長表敬・学部視察 経済企画省国際協力局長表敬 デグシガルパ准看護婦養成学校視察 日本大使館表敬・打合せ
8 / 14	午前 午後	厚生省との協議 厚生省との協議
8 / 15	午前 午後	厚生省との協議 (矢野団長、井手団員、国立教育病院・CESAR・CESAMO視察) J I C A事務所・団内打合せ
8 / 16	午前 午後	討議議事録 (R/D) 署名・交換 大使館・J I C A事務所報告
8 / 17		テグシガルパ ⇨ ニューヨーク (移動)
8 / 18		ニューヨーク ⇨ 東京 (19日着)



1-4 主要面談者

Dr. Cesar Castellanos Madrid	厚生大臣
Dr. Jose Ramon Pereira	厚生省副大臣
Dr. Jorge Alberto Medina	厚生省人的資源局長
Dr. Luis Roberto Escoto	厚生省計画局次長
Lic. Lilibiana Mejia	厚生省人的資源局長代理
Dr. Ramon Serna	経済企画省国際協力局長
Lic. Guadalupe Hung	経済企画省国際協力局 日本担当課長
Dr. Jose Antonio Nunez	国立自治大学医学部長
Lic. Eva Luz de Alvarado	国立自治大学医学部副学部長
Lic. Reyna Lidiana de Paredes	国立自治大学看護学部長
Lic. Ana Maria Sanchez	国立自治大学看護学部教授
Lic. Mirian Chang	厚生省准看護婦養成学校長（デグシガルパ校）
Lic. Alba Luz de Maudough	厚生省准看護婦養成学校教員
渡辺 透	在ホンデュラス国日本大使館臨時代理大使
阿部 優	在ホンデュラス日本大使館一等書記官
上条 直樹	国際協力事業団ホンデュラス事務所
丸田 隆弘	国際協力事業団ホンデュラス事務所
Ing. Cesar A. Morales	国際協力事業団ホンデュラス事務所

## 2. 要 約

本件調査団は記述のとおり、平成元年12月の事前調査、及び平成2年3月から1ヶ月の長期調査の結果を踏まえ、平成2年8月に、本件プロジェクトの実施に向けて、先方実施機関との協議及び討議議事録の締結・署名を目的に派遣されたものであり、その協議要約は以下のとおりである。

実施協議調査団は、首都テグシガルパ市を中心に准看護婦養成学校、看護婦養成校である国立自治大学看護学部、国立病院、CESAMO（医師及び看護婦の配置されている保健所）、CESAR（准看護婦のみ配置されている保健所）の視察とともに、プロジェクト実施のために先方関係者との協議を行なった。その結果、8月16日にホンデュラス国セサル・カスティヤーノス・マドリッド厚生大臣と日本側矢野実施協議調査団長との間で、プロジェクト方式技術協力として看護教育強化事業に係る討議議事録（R/D）について合意の署名が行なわれ、交換された。これにより、平成2年9月1日から5年間、看護教育に関する協力が、中米において、我が国にとっては初めて開始されることとなった。

プロジェクトの目的は、看護教員に対する技術移転により、准看護婦養成及び看護婦養成の強化を図り、ホンデュラス国の公衆衛生の改善に寄与することである。

プロジェクトの目標は、以下の5項目である。

- 1) 緊急に対処を要する領域における看護教育の理論及び方法の改善
- 2) 看護教育カリキュラムの改善
- 3) 農村及び都市における実践教育技術の改善及び強化
- 4) 看護教育技術の改善
- 5) 看護教育用テキストの開発及び改善

また、プロジェクトの相手側実施機関は以下のとおりである。

- 1) 厚生省所管准看護婦養成学校（テグシガルパ校、 Cholteca校、サンペドロスーラ校の3校）
- 2) 国立自治大学所管看護婦養成学部（テグシガルパ校、サンペドロスーラ校、ラセイバ校の3校）

ホンデュラス国は、1982年に軍事政権から民政移管となり、1990年1月には、大統領選挙が実施され、自由党から国民党に政権が移行している。また、その保健医療政策は、公衆衛生向上のため、「2000年までにすべての人々に健康を」をスローガンのもと「保健医療サービス地域拡大戦略計画」を策定中である。ホンデュラス全国は7つの保健行政地域に分けられ、それぞれは5つのレベルー①国立病院、②地域病院、③地区病院、④CESAMO（医師及び看護婦のいる保健所）、⑤CESAR（准看護婦のみの保健所）ーによっているが、この住民直結のCESAMO、CESAR を中心とし

た施策の拡大、人材の量的、質的向上が緊急の課題となっている。

プロジェクト討議議事録署名後の厚生大臣の演説によれば、上記背景をもとに、准看護婦による地域住民への保健活動を重視しており、准看護婦の養成強化、地域住民に直結する病院増加、CESAMO、CESARを今後300余増やしていきたいこと等が力説された。また、そのためにも、本件プロジェクトに対する我が方への期待が強いばかりでなく、ホンデュラス側関係者の対応も積極的であった。

### 3. 討議議事録の交渉経緯

#### 3-1 交渉経緯

本件討議議事録の作成にあたっては、日本側より相手側に対して事前に議事録案を送付していたこと、及び事前調査、その後の長期調査により、協力目的、内容等に概ねの双方の理解が進んでいたことにより、比較的順調に交渉が行なわれた。

調査団は、先ず、先方厚生省計画局及び人的資源局、国立自治大学のプロジェクト実施にあたっての事務責任担当者と同側の日本側討議議事録案について検討、協議を行なった。その結果、以下の主な点につき、修正、改定が加えられ、双方の合意を得ることができ、最終的に次項に掲載した討議議事録の署名・交換が8月16日、厚生省にて関係者約50名余の出席のなか、セサール・カスティヤノ厚生大臣と矢野調査団長の間にて行なわれた。

#### 1) プロジェクト名

我が方原案では、「看護教育」としていたが、先方より本プロジェクトは既存の看護教育の体制強化を目的とする性格を明確にすべきであるとの意見が出され、「看護教育強化」をプロジェクト名とすることとした。

#### 2) 付属書のⅡ. の3項のテンポラリーライセンスの発給者

原案では、テンポラリーライセンスの発給については、看護婦免許及び医師免許はそれぞれ看護協会、医師会が発給者であることから、厚生省がプロジェクトに派遣された日本人専門家の免許発給に対してそれぞれの協会に求めることとなることからして、「The authorities concerned of the Republic of Honduras Will issue a temporary license～」を「The Ministry of Public Health will ask the authorities concerned to issue a temporary license～」に変更した。

#### 3) 付属書のⅦの2項の(2)

ホンデュラス側は同国の取るべき措置のうち供与機材の引き取り手続き、費用の負担に関し、ホンデュラス国内での関係省庁に対する免税措置等説明をより容易に、明確にするため、以下のように変更を希望し、我が方も同意した。原案「Customs, duties, internal taxes, and any other charges, imposed on the Equipment in the Republic of Honduras」を「Exemption of all kind of taxes and any other charges related to the Equipment and vehicles donated by the Government of Japan for the implementation of the Project」に変更。

#### 4) 付属書のⅧの2項の2.

プロジェクトの実施に対しては、厚生省がその全責任を負うことで了解したが、プロジェクト管理・運営面では、原案として「厚生省人的資源局及び国立自治大学看護学部」を検討していたが、本プロジェクトが厚生省の全責任のもとで実施されることから、ホンデュラス側の協力及び責任窓口の一本化が望ましい旨のホンデュラス側からの表明があり、「厚生省人的資源局」をそ

の責任者であるとして合意した。

5) 翻訳条項の追加

付属書XI項として、本討議議事録が英西文の2通による作成としたことから、解釈に当たり英文議事録の優先条項を挿入した。

6) ANNEX IのMASTER PLANの追加

MASTER PLANの項の3.として、プロジェクト実施・活動機関を明記したいとのホンデュラス側よりの意向があり、我が方でも同意し、双方合意の厚生省3准看護婦養成学校及び国立自治大学3看護学部名を挿入した。

7) ANNEX VIIの2.

コーディネーティングコミッティの構成について

(1) Chairman:

Head of the Division of Human Resources of the Ministry of Public Health

(2) Honduran side:

(a) Chief of the Project

(b) ~

(j) Personnel concerned mutually agreed upon及び

Note:Official(s) concerned may attend the Coordinating Committee as observer(s)」に変更した。

原案では、Co-chairmanとして日本人専門家リーダーを記載したが、ホンデュラス側からChairmanを必ず出席させるとのことで、削除した。また、(j)及びNoteの追加については、ホンデュラス側より「本プロジェクトは同国での初めての保健医療分野におけるプロジェクト方式技術協力であるところから、特に、関係省庁、機関のメンバーをオブザーバーとして出席させたい」との意向があり、同意した。

3-2 討議議事録(R/D)等

日ホ両国実施機関にて締結・署名された討議議事録及び暫定実施計画は次頁以降のとおりである。また、同議事録等は英文及び西文にて取り交され、英文を正本とすることとした。

THE RECORD OF DISCUSSIONS  
BETWEEN THE JAPANESE IMPLEMENTATION SURVEY TEAM AND  
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF HONDURAS  
ON THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION  
FOR  
THE PROJECT ON THE FORTIFICATION OF NURSING EDUCATION

The Japanese Implementation Survey Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Ms. Masako Yano, Director of Nursing Division, Health Policy Bureau, Ministry of Health, visited the Republic of Honduras from August 10th to 17th, 1990, for the purpose of working out the details of the Japanese Technical Cooperation Programme for the Project on the Fortification of Nursing Education (hereinafter referred to as "the Project").

During its stay in the Republic of Honduras, the Team exchanged views and had a series of discussions with the Honduran authorities concerned in respect of the desirable measures to be taken by both Governments for the successful implementation of the Project.

As a result of the discussions, both parties agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the document attached hereto.

Tegucigalpa, 16th of August, 1990

Masako Yano

Ms. Masako Yano  
Leader,  
Japanese Implementation Survey Team,  
Japan International Cooperation Agency  
JAPAN

  
*Cesar Castellanos*

Dr. Cesar Castellanos  
Minister,  
Ministry of Public Health  
THE REPUBLIC OF HONDURAS

*M.Y.*

## THE ATTACHED DOCUMENT

### I. COOPERATION BETWEEN BOTH GOVERNMENTS

1. The Government of Japan and the Government of the Republic of Honduras will cooperate with each other in implementing the Project for the purpose of fortifying the formation of auxiliary nursing education through the teachers' training, as well as the registered nursing teachers' training, and thus contributing to the improvement of public health in the Republic of Honduras.
2. The Project will be implemented in accordance with the Master Plan which is given in I of Annex.

### II. DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS

1. In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures through JICA to provide at its own expense services of Japanese experts as listed in II of Annex through the normal procedures under the Technical Cooperation Scheme of the Government of Japan.
2. The Japanese experts referred to in 1. above and their families will be granted in the Republic of Honduras the privileges, exemptions and benefits as listed in III of Annex and will be granted privileges, exemptions and benefits no less favourable than those accorded to experts of third countries or international organizations performing similar missions in the Republic of Honduras.
3. The Ministry of Public Health will ask the authorities concerned to issue a temporary license in nursing and/or in medicine for the Project to Japanese experts who are qualified in accordance with the laws and regulations in force in Japan upon arrival in the Republic of Honduras.

### III. PROVISION OF MACHINERY AND EQUIPMENT

1. In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures through JICA to provide at its own expense such machinery, equipment and other materials (hereinafter referred to as "the Equipment") necessary for the implementation of the Project as listed in IV of Annex through the

*ef*  
*M. Y*

normal procedures under the Technical Cooperation Scheme of the Government of Japan.

2. The Equipment will become the property of the Government of the Republic of Honduras upon being delivered C.I.F. to the Honduran authorities concerned at the ports and/or airports of disembarkation and will be utilized exclusively for the implementation of the Project in consultation with the Japanese experts referred to in II of Annex.

#### IV. TRAINING OF HONDURAN COUNTERPART PERSONNEL IN JAPAN

1. In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures through JICA to receive at its own expense the Honduran counterpart personnel related to the Project for technical training in Japan through the normal procedures under the Technical Cooperation Scheme of the Government of Japan.
2. The Government of the Republic of Honduras will take necessary measures to ensure that the knowledge and experience acquired by the Honduran personnel from technical training in Japan will be utilized effectively for the implementation of the Project.

#### V. SERVICE OF HONDURAN COUNTERPART AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL

1. In accordance with the laws and regulations in force in the Republic of Honduras, the Government of the Republic of Honduras will take necessary measures to secure at its own expense the necessary services of Honduran counterpart and administrative personnel as listed in V of Annex.
2. The Government of the Republic of Honduras will allocate the necessary number of suitably qualified personnel corresponding to each Japanese experts to be dispatched by the Government of Japan as specified in II of Annex for the effective and successful transfer of technology under the Project.

#### VI. SPECIAL MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF JAPAN

- 1 In order to assure the smooth implementation of the Project, in accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures through JICA to supplement a portion of the local cost expenditures for construction work of the Laboratory/ Project office.

*Handwritten initials:*  
M.Y.



## VII. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF HONDURAS

1. In accordance with the laws and regulations in force in the Republic of Honduras, the Government of the Republic of Honduras will take necessary measures to provide at its own expense:
  - (1) Land, buildings and facilities as listed in VI of Annex;
  - (2) Supply or replacement of machinery equipment, instrument, vehicles, tools, spare parts and any other materials necessary for the implementation of the Project other than those provided through JICA under III above;
  - (3) Transportation facilities and travel allowance for official travel of Japanese experts within the Republic of Honduras;
  - (4) Suitably furnished accommodations for the Japanese experts and their families.
2. In accordance with the laws and regulations in force in the Republic of Honduras, the Government of the Republic of Honduras will take necessary measures to meet:
  - (1) Expenses necessary for the transportation of the Equipment within the Republic of Honduras as well as for installation, operation and maintenance thereof;
  - (2) Exemption of all kind of taxes and any other charges related to the Equipment and vehicles donated by the Government of Japan for the implementation of the Project;
  - (3) All running expenses necessary for the implementation of the Project.

## VIII. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

1. The Ministry of Public Health will bear overall responsibility for the implementation of the Project.
2. The Division of Human Resources Development of the Ministry of Public Health will be responsible for the administrative and managerial matters of the Project.
3. The leader of the Japanese experts will provide necessary recommendation and advice on technical and administrative matters concerning the implementation of the Project to 2. above.
4. The Japanese experts will give necessary technical guidance and advice to the Honduran counterpart personnel on matters pertaining to the implementation of the Project.

5. For the effective and successful implementation of the Project, a Coordinating Committee will be established with the functions and composition as referred to in VII of Annex.

#### IX. CLAIMS AGAINST JAPANESE EXPERTS

The Government of the Republic of Honduras undertakes to bear claims, if any arises, against the Japanese experts engaged in the Project resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their official functions in the Republic of Honduras except for those arising from the willful misconduct or gross negligence of the Japanese experts.

#### X. MUTUAL CONSULTATION

There will be mutual consultation between the two Governments on any major issues arising from, or in connection with this Attached Document.

#### XI. TERM OF COOPERATION

The duration of technical cooperation for the Project under this Record of Discussions will be five (5) years from 1st of September, 1990.

#### XII. TRANSLATION

The Record of Discussions were prepared in English and in Spanish. The English version will prevail if arises the discrepancy between two versions.

*see*  
*M.Y*

## ANNEX

### I. MASTER PLAN

#### 1. Objectives of The Project

The objective of the Project is to fortify the formation of the auxiliary nursing education through the teachers' training, as well as the registered nursing teachers' training, and thus contributing the improvement of public health in the Republic of Honduras.

#### 2. Objectives of the Japanese Technical Cooperation will include the following:

- (1) To improve the theories and the methods of nursing education in critical areas
- (2) To improve the nursing education curriculum
- (3) To improve and fortify the techniques of practical education in rural and urban areas
- (4) To improve the techniques of education for teachers
- (5) To improve the techniques for development for textbooks

#### 3. Implementation Sites

- (1) Auxiliary Nursing School in Tegucigalpa
- (2) Auxiliary Nursing School in Choluteca
- (3) Auxiliary Nursing School in San Pedro Sula
- (4) Nursing Education Department of the National Autonomy University in Tegucigalpa
- (5) Nursing Education Department of the National Autonomy University in San Pedro Sula
- (6) Nursing Education Department of the National Autonomy University in La Ceiba

### II. JAPANESE EXPERTS

1. Leader
2. Coordinator
3. Experts in the fields of:
  - (a) Nursing education (education curriculum)
  - (b) Nursing education (surgery)
  - (c) Nursing education (pediatrics)

*ed*  
*M.Y*

- (d) Nursing education (public health)
  - (e) Nursing education (obstetrics)
  - (f) Nursing education (general)
  - (g) Nursing education (curriculum evaluation)
4. Other related fields mutually agreed upon as necessary

### III. PRIVILEGES, EXEMPTIONS AND BENEFITS

1. Exemptions from income tax and charge of any kind imposed on or in connection with the living allowances remitted from abroad.
2. Exemption from import duties and any other charges in respect to personal and household effects including one motor vehicle per expert which may be brought into the Republic of Honduras.
3. In case of an accident or emergency, the Government of the Republic of Honduras will use all its available means to provide medical and other necessary assistance to the Japanese experts and their families.

### IV. EQUIPMENT

1. Equipment pertaining to:
  - (1) Theories and methods of nursing education in the critical areas
  - (2) Nursing education curriculum
  - (3) Techniques of practical education in rural and urban areas
  - (4) Techniques of education for teachers
  - (5) Techniques of development for textbooks
  - (6) Other related equipment mutually agreed upon as necessary

### V. HONDURAN COUNTERPART AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL

1. Chief of the Project
2. Coordinator
3. Counterpart personnel in the fields of:
  - (a) Nursing education (education curriculum)
  - (b) Nursing education (surgery)
  - (c) Nursing education (pediatrics)
  - (d) Nursing education (public health)
  - (e) Nursing education (obstetrics)
  - (f) Nursing education (general)
  - (g) Nursing education (curriculum evaluation)

*M.Y.*

4. Other related fields mutually agreed upon as necessary
5. Administrative personnel:
  - (a) Secretary
  - (b) Driver, and
  - (c) Other supporting staff mutually agreed upon as necessary

#### VI. LAND, BUILDINGS AND FACILITIES

1. Land
2. Buildings and facilities
  - (1) Sufficient space for the implementation of the Project
  - (2) Office for leader of Japanese experts
  - (3) Offices and necessary facilities for Japanese experts
  - (4) Facilities such as electricity, gas and water supply, sewerage system, telephone and furniture necessary for the Project activities.

#### VII. COORDINATING COMMITTEE

##### 1. Functions

The Coordinating Committee will meet at least once a year and whenever necessary, and work:

- (1) To approve the annual work plan of the Project in line with the Tentative Schedule of Implementation.
- (2) To review the overall progress of the Project as well as the achievements of the above-mentioned annual work plan.
- (3) To review and exchange views on major issues arising from or in connection with the Project.

##### 2. Composition

###### (1) Chairman:

Head of the Division of Human Resources Development of the Ministry of Public Health

###### (2) Honduran side:

- (a) Chief of the Project
- (b) Coordinator
- (c) Head of the Auxiliary Nursing School in Tegucigalpa
- (d) Head of the Auxiliary Nursing School in Choluteca
- (e) Head of the Auxiliary Nursing School in San Pedro Sula
- (f) Head of the Nursing Education Department of the Nacional Autonomy University in Tegucigalpa

*M.Y.*

- (g) Head of the Nursing Education Department of the Nacional Autonomy University in San Pedro Sula (CURN)
- (h) Head of the Nursing Education Department of the Nacional Autonomy University in La Ceiba (CURLA)
- (i) Personnel concerned mutually agreed upon

Notes: Official(s) concerned may attend the Coordinating Committee as observer(s).

(3) Japanese side:

- (a) Leader
- (b) Coordinator
- (c) Other experts mutually agreed upon
- (d) Personnel concerned mutually agreed upon, to be dispatched by JICA
- (e) Resident representative of JICA

Notes: Official(s) of the Embassy of Japan may attend the Coordinating Committee as observer(s).

*elb*  
*m. y*

THE PROJECT ON THE FORTIFICATION OF NURSING EDUCATION

The Japanese Implementation Survey Team (hereinafter referred to as "the Team") and the Honduran authorities concerned have jointly formulated the Tentative Schedule of Implementation of the Project as annexed hereto.

This has been formulated in line with the Attached Document of the Record of Discussions signed between the Team and the Honduran authorities concerned for the Project on condition that the necessary budget will be allocated for the implementation of the Project, though it is subject to change within the framework of the Record of Discussions when necessity arises in the course of implementation.

Tegucigalpa, 16th of August, 1990

*Masako Yano*

Ms. Masako Yano  
Leader  
Japanese Implementation Survey Team  
Japan International Cooperation Agency  
JAPAN



Dr. Cesar Castellanos  
Minister

Ministry of Public Health  
THE REPUBLIC OF HONDURAS

*my*

TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION

OBJECTIVES AND ACTIVITIES	1990	1991	1992	1993	1994	1995
1. Improve the theories and methods of nursing education in critical areas						
2. Improve the nursing education curriculum						
3. Improve and fortify the techniques of practical education in rural and urban areas						
4. Improve the techniques of education for teachers						
5. Improve the techniques of development for textbooks						
DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS						
1. Leader						
2. Coordinator						
3. Nursing education (education curriculum)						
4. Nursing education (surgery)						
5. Nursing education (pediatrics)						
6. Nursing education (public health)						
7. Nursing education (obstetrics)		—	—	—	—	
8. Nursing education (general)		—	—	—	—	
9. Nursing education (curriculum evaluation)		—	—	—	—	
10. Other related fields mutually agreed upon as necessary		—	—	—	—	
TRAINING OF HONDURAN COUNTERPART PERSONNEL IN JAPAN						
1. Nursing education policy	—					
2. Nursing education (Surgery)	—			—	—	—
3. Nursing education (Pediatrics)			—	—		—
4. Nursing education (Gineco-obstetrics)			—	—		—
5. Nursing education (Curriculum evaluation)		—	—			
6. Nursing education (Public health)		—			—	
7. Administration of nursing education		—			—	
DISPATCH OF JAPANESE MISSIONS						
1. Planning and Consultation Mission		—				
2. Advisory Survey Mission				—		
3. Evaluation Mission						—

LA  
M. 4





SECRETARIA DE ESTADO  
 EN EL  
 DESPACHO DE SALUD PUBLICA  
 REPUBLICA DE HONDURAS, CENTRO AMERICA

RELACION DE LAS DISCUSIONES SOSTENIDAS  
 ENTRE LA MISION JAPONESA DE ESTUDIOS DE EJECUCION Y  
 LAS AUTORIDADES CORRESPONDIENTES DEL GOBIERNO DE LA REPUBLICA DE HONDURAS  
 EN LO REFERENTE A LA COOPERACION TECNICA JAPONESA  
 PARA  
 EL PROYECTO DE FORTALECIMIENTO DE EDUCACION PARA ENFERMERIA

La Misión Japonesa de Estudios de Ejecución en lo sucesivo denominada "La Misión", organizada por la Agencia Japonesa de Cooperación Internacional en lo sucesivo denominada "JICA" y encabezada por la Lic. Masako Yano, Directora de la División de Enfermería, Oficina de Políticas de Salud, Ministerio de Salud, visitó la República de Honduras del 10 al 17 de agosto de 1990 para efectos de negociar los detalles del Programa de Cooperación Técnica Japonesa para el Proyecto de Fortalecimiento de Educación para Enfermería en lo sucesivo denominado "El Proyecto".

Durante su estancia en la República de Honduras, la Misión intercambió y sostuvo una serie de discusiones con las autoridades hondureñas correspondientes con relación a las medidas convenientes que deberán tomar ambos Gobiernos para la ejecución eficaz del Proyecto.

Como resultado de las discusiones, ambas partes convinieron en recomendar a sus respectivos Gobiernos los asuntos a los cuales se hace referencia en el documento adjunto.

Tegucigalpa, 16 de agosto de 1990

*Handwritten initials*

*Masako Yano*

Lic. Masako Yano  
 Jefe

Misión Japonesa de Estudio de Ejecución  
 Agencia Japonesa de Cooperación  
 Internacional  
 JAPON

*M.Y.*



*Cesar Castellanos M.*

Ministro

Ministerio de Salud Pública  
 REPUBLICA DE HONDURAS



SECRETARIA DE ESTADO  
EN EL  
DESPACHO DE SALUD PUBLICA  
REPUBLICA DE HONDURAS, CENTRO AMERICA

EL DOCUMENTO ADJUNTO

I. COOPERACION ENTRE AMBOS GOBIERNOS

1. El Gobierno de Japón y el Gobierno de la República de Honduras cooperarán mutuamente en la ejecución del Proyecto con el propósito de fortalecer la formación de auxiliares de enfermería a través de la capacitación de los docentes así como la capacitación de los docentes de las escuelas de enfermeras profesionales y de esta manera contribuir al mejoramiento de la salud en la República de Honduras.
2. El Proyecto será ejecutado de conformidad con el Plan Maestro, el cual se detalla en el inciso I del Anexo.

II. ENVIO DE EXPERTOS JAPONESES

1. De conformidad con las leyes y reglamentos actualmente vigentes en Japón, el Gobierno de Japón tomará las medidas necesarias a través de JICA para proporcionar, por su propia cuenta, los servicios de expertos japoneses, según el listado presentado en el inciso II del Anexo, a través de los procedimientos normales bajo el Esquema de Cooperación Técnica del Gobierno de Japón.
2. Se concederá a los expertos japoneses en la República de Honduras, a los cuales se refiere en el inciso 1 anterior, y a sus familias, los privilegios, exenciones y beneficios listados en el inciso III del Anexo y se les concederán privilegios, exenciones y beneficios no menos favorables que los acordados a los expertos de terceros países y organizaciones internacionales que realizan misiones similares en la República de Honduras.
3. El Ministerio de Salud Pública de la República de Honduras gestionará ante las autoridades correspondientes una licencia temporal para ejercer la enfermería y/o medicina para los fines del proyecto a los expertos japoneses que fueron calificados de conformidad con las leyes y reglamentos actualmente vigentes en Japón, antes de su llegada al país.



SECRETARIA DE ESTADO  
EN EL  
DESPACHO DE SALUD PUBLICA  
REPUBLICA DE HONDURAS, CENTRO AMERICA

2

III. SUMINISTRO DE MAQUINARIA Y EQUIPO

1. De conformidad con las leyes y reglamentos actualmente vigentes en el Japón, el Gobierno de Japón tomará las medidas necesarias a través de JICA para proporcionar por su propia cuenta tal maquinaria, equipo y otros materiales (en lo sucesivo denominados "el Equipo") que sean necesarios para la ejecución del proyecto, según el listado presentado en el inciso IV del Anexo a través de los procedimientos normales bajo el Esquema de Cooperación Técnica del Gobierno de Japón.
2. El equipo se convertirá en propiedad del Gobierno de la República de Honduras a su entrega C.I.F. a las autoridades hondureñas correspondientes en los puertos y/o aeropuertos de desembarque y será utilizado exclusivamente para la ejecución del Proyecto de común acuerdo con los expertos japoneses a los cuales se hace referencia en el inciso II del Anexo.

IV. CAPACITACION DE PERSONAL HONDUREÑO DE CONTRAPARTE EN JAPON

- ef*
1. De conformidad con las leyes y reglamentos actualmente vigentes en Japón tomará las medidas necesarias a través de JICA para recibir, por su propia cuenta, al personal hondureño de contraparte relacionado con el Proyecto para efectos de brindarles capacitación técnica en el Japón a través de los procedimientos normales bajo el Esquema de Cooperación Técnica del Gobierno de Japón.
  2. El Gobierno de la República de Honduras tomará las medidas necesarias para asegurar que los conocimientos y experiencia adquiridos por el personal hondureño, en virtud de la capacitación técnica recibida en Japón, sean utilizados eficazmente para la ejecución del Proyecto.

V. SERVICIO DEL PERSONAL HONDUREÑO ADMINISTRATIVO Y DE CONTRAPARTE

1. De conformidad con las leyes y reglamentos actualmente vigentes en la República de Honduras, el Gobierno de la República de Honduras tomará las medidas necesarias para obtener, por su propia cuenta,

*M.Y*



SECRETARIA DE ESTADO  
EN EL  
DESPACHO DE SALUD PUBLICA  
REPUBLICA DE HONDURAS, CENTRO AMERICA

3

los servicios necesarios del personal hondureño administrativo y de contraparte según el listado presentado en el inciso V del Anexo.

2. El Gobierno de la República de Honduras asignará el número necesario de personal adecuadamente calificado correspondiente a cada experto japonés a ser enviado por el Gobierno de Japón según lo especificado en el inciso II del Anexo para la transferencia eficaz y exitosa de tecnologías bajo el Proyecto.

VI. MEDIDAS ESPECIALES QUE DEBERAN SER TOMADAS POR EL GOBIERNO DE JAPON

A fin de asegurar la ejecución fluida del Proyecto, de conformidad con las leyes y reglamentos actualmente vigentes en Japón, el Gobierno de Japón tomará las medidas necesarias a través de JICA para suplir una parte de los gastos locales para los trabajos de construcción del Laboratorio/Oficina del Proyecto.

VII. MEDIDAS QUE DEBERAN SER TOMADAS POR EL GOBIERNO DE LA REPUBLICA DE HONDURAS

1. De conformidad con las leyes y reglamentos actualmente vigentes en la República de Honduras, el Gobierno de la República de Honduras tomará las medidas necesarias para proporcionar por su propia cuenta:

- (1) terreno, edificios e instalaciones según el listado presentado en el inciso VI del Anexo;
- (2) suministro o reemplazo de maquinaria, equipo, instrumentos, vehículos, herramientas, repuestos y cualquier otros materiales necesarios para la ejecución del proyecto aparte de los proporcionados a través de JICA de conformidad con el inciso III anterior;
- (3) medios de transporte y viáticos para la realización de viajes oficiales por los expertos japoneses dentro de la República de Honduras.

*el*  
  
*m. y*



SECRETARIA DE ESTADO  
EN EL  
DESPACHO DE SALUD PUBLICA  
REPUBLICA DE HONDURAS, CENTRO AMERICA

4

- (4) viviendas adecuadamente amuebladas para los expertos japoneses y sus familias.
2. De conformidad con las leyes y reglamentos actualmente vigentes en la República de Honduras, el Gobierno de la República de Honduras tomará las medidas necesarias para cubrir:
  - (1) los gastos necesarios para el transporte del Equipo dentro de la República de Honduras así como para la instalación, operación y mantenimiento del mismo;
  - (2) Exonerar de toda clase de impuestos, gravámenes y demás, sobre el equipo, vehículos y suministros donados para la implementación del Proyecto por parte del Gobierno de Japón.
  - (3) todos los gastos de operación ordinarios necesarios para la ejecución del Proyecto.

VIII. ADMINISTRACION DEL PROYECTO

1. El Ministerio de Salud Pública asumirá la responsabilidad general de la ejecución del proyecto.
2. La División de Desarrollo de Recursos Humanos del Ministerio de Salud Pública será responsable de los asuntos administrativos y gerenciales del Proyecto.
3. El Jefe de los expertos japoneses proporcionará a la entidad mencionada en el inciso 2 anterior las recomendaciones y consejos necesarios con respecto a los asuntos técnicos y administrativos relacionados con la ejecución del Proyecto.
4. Los expertos japoneses brindarán la orientación y consejos técnicos necesarios al personal hondureño de contraparte en aquellos asuntos relacionados con la ejecución del Proyecto.



SECRETARIA DE ESTADO  
EN EL  
DESPACHO DE SALUD PUBLICA  
REPUBLICA DE HONDURAS, CENTRO AMERICA

5

5. Para la ejecución efectiva y exitosa del proyecto, se establecerá un comité coordinador el cual tendrá las funciones o integración establecidas en el inciso VII del Anexo.

IX. RECLAMOS CONTRA LOS EXPERTOS JAPONESES

El gobierno de la República de Honduras acuerda correr con los reclamos, si hubiere, contra los expertos japoneses relacionados con el Proyecto que resulten u ocurran en el transcurso de, o que de otra manera estén relacionados con, el desempeño de sus funciones oficiales en la República de Honduras, con la excepción de los que surjan de la mala conducta intencional o la imprudencia temeraria de los expertos japoneses.

X. CONSULTAS MUTUAS

Se efectuarán consultas mutuas entre los dos gobiernos con respecto a todo asunto de importancia que surja en virtud de este Documento Adjunto o en relación con el mismo.

XI. DURACION DE LA COOPERACION

La duración de la cooperación técnica para el Proyecto de conformidad con la presente Relación de Discusiones será de cinco (5) años a partir del 1 de septiembre de 1990.

XII. TRADUCCION

Esta acta fue preparada en inglés y español. El texto en inglés regirá en caso de divergencia entre los textos.



SECRETARIA DE ESTADO  
EN EL  
DESPACHO DE SALUD PUBLICA  
REPUBLICA DE HONDURÁS, CENTRO AMERICA

6

A N E X O

I. PLAN MARSTRO

1. Objetivos del Proyecto

El objetivo del Proyecto es fortalecer la formación de auxiliares de enfermería a través de la capacitación de los docentes, así como la capacitación de los docentes de las Escuelas de Enfermeras Profesionales y de esta manera contribuir al mejoramiento de la salud en la República de Honduras.

2. Objetivos de la Cooperación Técnica Japonesa

- (1) Mejorar las teorías y métodos de la educación en enfermería en áreas críticas.
- (2) Mejorar el programa de estudios para la educación de enfermería.
- (3) Mejorar y fortalecer las técnicas de educación práctica en las áreas rurales y urbanas.
- (4) Mejorar las técnicas de educación para los docentes.
- (5) Mejorar las técnicas para el desarrollo de libros de texto.

3. Sitios de Implementación

- (1) Centro Nacional de Adiestramiento de Recursos Humanos, Tegucigalpa.
- (2) Centro Regional de Adiestramiento de Recursos Humanos del Norte, San Pedro Sula.



SECRETARIA DE ESTADO  
EN EL  
DESPACHO DE SALUD PUBLICA  
REPUBLICA DE HONDURAS, CENTRO AMERICA

7

- (3) Centro Regional de Adiestramiento de Recursos Humanos del Sur, Choluteca.
- (4) Departamento de Educación de Enfermería de Tegucigalpa.
- (5) Departamento de Educación de Enfermería de CURN, San Pedro Sula.
- (6) Departamento de Educación de Enfermería de CURLA, La Ceiba.

II. EXPERTOS JAPONESSES

1. Jefe
2. Coordinador
3. Expertos en los campos de:
  - (a) Educación en enfermeras (programa de estudios)
  - (b) Educación en enfermeras (cirugía)
  - (c) Educación en enfermeras (pediatría)
  - (d) Educación en enfermeras (salud pública)
  - (e) Educación en enfermeras (obstetricia)
  - (f) Educación en enfermeras (general)
  - (g) Educación en enfermeras (evaluación de programas de estudios)
4. Otros campos relacionados acordados mutuamente según sea necesario.

III. PRIVILEGIOS, EXENCIONES Y BENEFICIOS

1. Exención del pago del impuesto sobre la renta y cargos de cualquier índole efectuados sobre las asignaciones de manutención remitidas del exterior o relacionadas con las mismas.
2. Exención del pago de los derechos de importación y cualquier otros cargos efectuados en relación con los efectos personales y enseres domésticos, incluyendo un vehículo automotor por experto, el cual podrá ser introducido a la República de Honduras.

*ML*





SECRETARIA DE ESTADO  
EN EL  
DESPACHO DE SALUD PUBLICA  
REPUBLICA DE HONDURAS, CENTRO AMERICA

8

3. En el caso de accidente o emergencia, el Gobierno de la República de Honduras se valdrá de todos los medios disponibles para proporcionar asistencia médica y otra asistencia que sea necesaria a los expertos japoneses y sus familias.

IV. EQUIPO

Equipo relacionado con:

- (1) La teoría y método de educación de enfermería en áreas críticas.
- (2) El programa de estudios para la educación de enfermería.
- (3) La técnica de la educación práctica en las áreas rurales y áreas urbanas marginales.
- (4) La técnica para la educación de docentes.
- (5) La técnica para el desarrollo de libros de texto.
- (6) Otros equipos afines, acordados mutuamente según sea necesario.

V. PERSONAL HONDUREÑO ADMINISTRATIVO Y DE CONTRAPARTE

1. Jefe del Proyecto
2. Coordinador
3. Personal de contraparte en los campos de:
  - (a) Educación en enfermeras (programa de estudios)
  - (b) Educación en enfermeras (cirugía)
  - (c) Educación en enfermeras (pediatría)
  - (d) Educación en enfermeras (salud pública)
  - (e) Educación en enfermeras (obstetricia)
  - (f) Educación en enfermeras (general)
  - (g) Educación en enfermeras (evaluación de programas de estudios)
4. Otros campos relacionados, acordados mutuamente según sea necesario.
5. Personal administrativo:
  - (a) Secretaria

M. 4



SECRETARIA DE ESTADO  
EN EL  
DESPACHO DE SALUD PUBLICA  
REPUBLICA DE HONDURAS, CENTRO AMERICA

9

- (b) Motorista, y
- (c) Otro personal de apoyo, acordado mutuamente según sea necesario.

VI. TERRENO, EDIFICIOS E INSTALACIONES

- 1. Terreno
- 2. Edificios e instalaciones
  - (1) Espacio suficiente para la ejecución del Proyecto.
  - (2) Oficina para el jefe de los expertos japoneses.
  - (3) Oficinas e instalaciones necesarias para los expertos japoneses
  - (4) Facilidades tales como el suministro de servicios de electricidad, gas y agua, sistema de alcantarillado, teléfonos y mobiliario necesarios para las actividades del proyecto.

VII. COMITE COORDINADOR

1. Funciones

*ref*  
El Comité Coordinador se reunirá por lo menos una vez al año, y cuandoquiera que sea necesario, y trabajará para:

- (1) Aprobar el Plan de Trabajo Anual del Proyecto de acuerdo con el Calendario de Ejecución Tentativo.
- (2) Revisar el progreso general del Proyecto, así como los logros alcanzados por el Plan de Trabajo Anual anteriormente mencionado.
- (3) Revisar e intercambiar criterios en relación con los interrogantes de importancia que surjan del Proyecto o en su relación con el mismo.

2. Integración

- (1) Presidente

*M.Y*  
Jefe de la División de Desarrollo de Recursos Humanos del Ministerio de Salud Pública.



SECRETARIA DE ESTADO  
EN EL  
DESPACHO DE SALUD PUBLICA  
REPUBLICA DE HONDURAS, CENTRO AMERICA

10

(2) Integrantes por Honduras

- (a) Jefe del Proyecto
- (b) Coordinador
- (c) Directora de la Escuela de Auxiliares de Enfermería en Tegucigalpa
- (d) Directora de la Escuela de Auxiliares de Enfermería en Choluteca
- (e) Directora de la Escuela de Auxiliares de Enfermería en San Pedro Sula.
- (f) Jefe del Departamento de Educación de Enfermería de la Universidad Nacional Autónoma de Honduras en Tegucigalpa.
- (g) Jefe del Departamento de Educación de Enfermería de la Universidad Nacional Autónoma de Honduras de San Pedro Sula (CURN)
- (h) Jefe del Departamento de Educación en Enfermería de la Universidad Nacional Autónoma de Honduras en La Ceiba (CURLA)
- (i) Otro personal acordado mutuamente

Nota: Otros funcionarios hondureños podrán asistir a las reuniones del Comité Coordinador como observadores.

*ef*  
(3) Por Japón

- (a) Jefe de los expertos japoneses
- (b) Coordinador
- (c) Otros expertos, acordados mutuamente
- (d) Personal interesado, acordado mutuamente, que será enviado por JICA
- (e) Representante residente de JICA

Nota: Funcionarios de la Embajada de Japón podrán asistir a las reuniones del Comité Coordinador como observadores.

*M. F.*  
BLANCA M. P.  
DOC. HON-JAPO/WP/AGO90/3



SECRETARIA DE ESTADO  
EN EL  
DESPACHO DE SALUD PUBLICA  
REPUBLICA DE HONDURAS, CENTRO AMERICA

CALENDARIO DE EJECUCION TENTATIVO  
PARA  
EL PROYECTO DE FORTALECIMIENTO DE EDUCACION PARA ENFERMERIA

La Misión Japonesa de Estudio de Ejecución en lo sucesivo denominada "La Misión" y las autoridades hondureñas correspondientes han formulado conjuntamente el Calendario de Ejecución Tentativo para el Proyecto, el cual se anexa al presente documento.

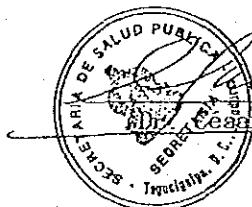
Este calendario ha sido formulado de conformidad con el Documento Adjunto de la Relación de Discusiones celebrado entre La Misión y las autoridades hondureñas responsables del Proyecto con la condición de que sea asignado el presupuesto necesario para la ejecución del proyecto, aunque esté sujeto a modificación dentro del marco de la Relación de Discusiones, según surja la necesidad durante el transcurso de la ejecución.

Tegucigalpa, 16 de agosto de 1990

*Masako Yano*

Lic. Masako Yano  
Jefe

Misión Japonesa de Estudio de Ejecución  
Agencia Japonesa de Cooperación  
Internacional  
JAFON



*César Castellanos M.*  
Ministro

Ministerio de Salud Pública  
REPUBLICA DE HONDURAS



SECRETARIA DE ESTADO  
EN EL  
DESPACHO DE SALUD PUBLICA  
REPUBLICA DE HONDURAS, CENTRO AMERICA

CALENDARIO DE EJECUCION TENTATIVO

OBJETIVOS Y ACTIVIDADES	1990	1991	1992	1993	1994	1995
1. Mejorar las teorías y métodos de la educación de enfermeras en áreas críticas						
2. Mejorar el programa de estudios de la educación de enfermeras						
3. Mejorar y fortalecer las técnicas de la educación práctica en las áreas urbanas marginales						
4. Mejorar las técnicas para la educación de docentes						
5. Mejorar las técnicas para el desarrollo de libros de texto						
ENVIO DE EXPERTOS JAPONESES						
1. Jefe						
2. Coordinador						
3. Educación de Enfermeras (programa de estudios)						
4. Educación de enfermeras (cirugía)						
5. Educación de enfermeras (pediatría)						
6. Educación de enfermeras (salud pública)						
7. Educación de enfermeras (obstetricia)		---	---	---	---	
8. Educación de enfermeras (general)		---	---	---	---	
9. Educación de enfermeras (evaluación de programas de estudios)		---	---	---	---	
10. Otros		---	---	---	---	
CAPACITACION DEL PERSONAL HONDUREÑO EN JAPON						
1. Políticas en torno a la educación de enfermeras	---					
2. Cirugía	---			---	---	---
3. Pediatría			---	---		---
4. Gineco-obstetricia			---	---		---
5. Evaluación de Programas de estudios		---	---			
6. Salud pública		---			---	
7. Administración de la educación de enfermeras		---			---	
ENVIO DE MISIONES JAPONESES						
1. Misión de Planificación y Consulta		---				
2. Misión de Estudios de Asesoría				---		
3. Misión de Evaluación						---

*esp*

*m.y*

### 3-3 討議議事録等の訳文

討議議事録及び暫定実施計画の抄訳（主な事項）は以下のとおりである。

討議議事録の内容

#### 1) プロジェクト名

看護教育強化プロジェクト

#### 2) 両国政府の協力（目的）

両国政府は看護教員研修並びに正看護婦教員研修を通じて、准看護婦教育の強化を図り、以て、同国の公衆衛生改善に寄与することを目的にプロジェクトの実施を行なう。

技術協力の目的は、①緊急に対処を要する領域における看護教育の理論及び方法の改善、②看護教育カリキュラムの改善、③農村及び都市における実践看護技術の強化及び改善、④教員に対する看護技術の改善、⑤テキスト開発技術の改善の5項目であり、また、その実施場所は厚生省所管の准看護婦養成3学校（テグシガルパ校、チョルテカ校、サンペドロスーラ校）及び国立自治大学3看護学部（デグシガルパ校、サンペドロスーラ校、ラセイバ校）である。

#### 3) 日本人専門家の派遣

上記プロジェクトの実施にあたり、日本人専門家の派遣を行ない、その指導分野については、プロジェクトリーダー、調整員の他、看護教育（教育カリキュラム、外科看護、小児看護、公衆衛生、母性看護、一般看護、カリキュラム評価）及び双方合意の分野である。

また、日本人専門家の技術移転にあたってのホンデュラス国における看護並びに医師資格免許の獲得については、同国ではそれぞれ看護協会、医師会が付与しているところから、厚生省としてそれぞれの協会にテンポラリーライセンスを発給するよう手続きを求めることとする。

その他、専門家及びその家族に対する特権免除については、他の我が国が実施しているプロジェクト協力と同様の措置を取ることとする。

#### 4) 機材供与

供与機材については、記述の技術協力の目的に沿い、実施するものとしている。

#### 5) ホンデュラス側カウンターパートの日本における研修

プロジェクトの効果的実施を目的に当該プロジェクトに関わるホンデュラス側カウンターパートを研修員として受け入れる。

#### 6) ホンデュラス側カウンターパートの配置

ホンデュラス国は日本人専門家の技術指導分野に対応した人材の配置及びプロジェクト管理に関わる人材の配置を行なう。

#### 7) 日本国の取るべき特例措置

本件プロジェクトの円滑な実施のため、我が方はプロジェクトに必要な不可欠な実習室及び事務室等の施設建設について、その先方費用の一部を負担する措置を取る。（プロジェクト基盤整備費にて、補完的施設の建設を実施する。）

8) ホンデュラス国の取るべき措置

- 1) プロジェクト実施にあたっての土地、建物及び施設の確保
- 2) 我が国より供与される機材以外のプロジェクト実施上必要とされる機材、機器、車両、スペアパーツ等の供給、交換
- 3) 日本人専門家の公的出張に際しての旅費等の提供等
- 4) 供与機材の輸送、設置、保守・管理に関わる必要な費用の負担
- 5) 供与機材に関わるホンデュラス国内のすべての課税免除
- 6) プロジェクト実施に必要とされるすべての実行費用の負担

9) プロジェクト管理

- 1) ホンデュラス厚生省はプロジェクトの実施に対して全責任を負う。
- 2) 厚生省人的資源局はプロジェクトの管理、運営面につき責任を負う。
- 3) 日本人専門家リーダーは上記2)につきプロジェクト実施に関わる技術面、管理面で必要とされる勧告、アドバイスをを行う。
- 4) 日本人専門家はプロジェクト実施に関わる事項について、ホンデュラス側カウンターパートに対して必要とされる技術的指導、アドバイスをを行う。
- 5) プロジェクトの効果的、円滑な実施のため、コーディネーティングコミッティーを設置することとし、その機能、構成メンバーは以下のとおりとした。

同コミッティーは、少なくとも年1回及び必要に応じて開催することとし、その機能は、①暫定実施計画に沿って、プロジェクトの年間業務計画を承認し、②プロジェクトの実施状況並びに年間業務計画の達成度を検討し、③プロジェクト実施において生じうる主要な問題点を検討、意見交換することである。また、そのメンバー構成は厚生省人的資源局長を議長とし、ホンデュラス側からはプロジェクト長、コーディネーター、厚生省所管准看護婦養成3学校長、国立自治大学3看護学部長他、日本側からはリーダー、調整員、専門家他、JICA事務所代表とし、日本大使館をオブザーバーとする。

10) 日本人専門家に対する請求

日本人専門家の業務遂行に関連し、第三者に対して故意または重大な過失を除き、当該専門家の免責を盛り込んだ。

11) 相互協議

討議議事録付属書に関連し、変更すべき、協議すべき点が生じた場合、両国政府間で協議する。

12) 協力期間

1990年9月1日より5年間とする。

13) 議事録解釈

本討議議事録は英西文にて作成されたが、解釈上疑義が生じた場合は英文を優先する。

暫定実施計画

	1990	1991	1992	1993	1994	1995
<u>目的及び活動</u>						
1. 緊急に対処を要する領域における看護教育の理論と方法の改善						
2. 看護教育カリキュラムの改善						
3. 農村及び都市における実践看護技術の強化及び改善						
4. 教員に対する看護技術の改善						
5. テキスト開発技術の改善						
<u>日本人専門家の派遣</u>						
1. リーダー						
2. 調整員						
3. 看護教育 (教育カリキュラム)						
4. 看護教育 (外科看護)						
5. 看護教育 (小児看護)						
6. 看護教育 (公衆衛生)						
7. 看護教育 (産科看護)		—	—	—	—	
8. 看護教育 (一般看護)		—	—	—	—	
9. 看護教育 (カリキュラム評価)		—	—	—	—	
10. その他		—	—	—	—	
<u>研修員受入れ</u>						
1. 看護教育政策	—					
2. 看護教育 (外科看護)	—			—	—	—
3. 看護教育 (小児看護)			—	—		—
4. 看護教育 (産婦人科看護)			—	—		—
5. 看護教育 (カリキュラム評価)		—	—			
6. 看護教育 (公衆衛生)		—			—	
7. 看護教育管理		—			—	
<u>調査団派遣</u>						
1. 計画打合せ調査団		—				
2. 巡回指導調査団				—		
3. 評価調査団						—



## 4. プロジェクト実施上の留意点

### 4-1 実施体制

ホンデュラス側実施体制について、プロジェクトの直接責任者及びプロジェクトコーディネーターが今回の調査団派遣時に内定されて人的配置の整備がなされている。また、カウンターパートも現在配置されている人材で対応が可能である。一方、日本側の専門家派遣についても既に、リーダー、調整員、その他の看護教育専門家の人選も終了しており、プロジェクト開始に向けての準備が進められている。以上の如く、実施上の人的体制は整備されているといえる。

しかしながら、事前調査、長期調査、及び今回の実施協議調査にても報告されているように、プロジェクト実施において若干の整備されるべき課題が存在しており、プロジェクト開始にあたり、整備されていく必要がある。

#### 1) 施設整備

まず、今回のプロジェクト実施拠点となる厚生省テグシガルバ准看護婦養成学校の施設面での充実である。既存施設においては、一応の整備はなされているが、技術協力を進めるに十分な実習室、講義室等の確保がなされていない。また、専門家の派遣に伴う専門家執務室の確保も必要不可欠である。今後のプロジェクトの進展によって、機材の整備、教材の開発事業、セミナー開催等に効果的技術協力が期待される所、係る技術移転並びに教育、学習環境の改善がホンデュラス側予算措置にて望まれる点である。この点については、今回の実施協議調査団よりも先方厚生省に強く要望を行ない、特に、緊急を要する専門家執務室については、専門家派遣時までには確保するよう表明し、先方もこれを了解した。また、プロジェクトの進捗に伴い、記述の実習室、講義室等の施設拡充についてもホンデュラス側の可能な限りの措置を要望するとともに、相手側の予算措置にて賄いきれず、また、我が方への要請があり、プロジェクトの実施を図る上で、早急に整備する必要がある場合、先方負担分の一部を我が方にて手当てすることにより施設整備について対処することとした。

#### 2) プロジェクト実施機関との調整

本件プロジェクトは厚生省がプロジェクトの全責任を負うことで、厚生省所管3准看護婦養成学校及び国立自治大学3看護学部に対して（プロジェクト拠点は厚生省所管テグシガルバ准看護婦養成学校）技術協力を進めることで合意したものであるが、ホンデュラス側の本プロジェクトに対する期待が強く、今後の進捗によっては、多くの要望が出されるものと考えられる所、厚生省を中心に十分な連絡調整が必要となろう。

#### 3) 国立実践教育研究所との連携

1989年に我が国の無償資金協力により完成したホンデュラス国文部省所管の教育センターであり、視聴覚教材開発、作成に関する機材整備がなされており、また、教育分野活動が開始されて

いるところから、本件プロジェクトでの視聴覚教材の制作、開発にあたっては同センターとの連携が望まれる。これについては先方側厚生省と文部省との調整、協議を通じて協力体制を整備していくこととなろう。

#### 4-2 実施計画

今回の実施協議調査団では本プロジェクトの開始にあたり、5年間の暫定的実施計画を取り纏め、双方の合意を見たが、日本側専門家の派遣により、先方との更なる協議、検討を通じて、各年毎におけるより詳細な、具体的なプロジェクト実施計画、目標の策定が望まれる。プロジェクト開始初年度における我が方投入計画については、以下のとおり検討している。

##### ① 専門家派遣

討議議事録署名・交換後、早い時期に調整員を派遣し、先方受け入れ体制の確認及び機材供与、研修員受入れ計画に伴う準備を行うとともに、引き続きリーダー並びに専門家を派遣し、今年度、次年度におけるより詳細な、具体的な活動内容の策定にとりかかることとする。

##### ② 研修員受入れ

プロジェクト開始年度は、相手側実施機関関係者に対して、我が方プロジェクト実施体制、看護教育制度、政策等の理解を求め、プロジェクトのより円滑な実施を図るべく、厚生省人的資源局をはじめとする厚生本省より当該プロジェクト関係者を受入れることとなろう。

##### ③ 機材供与

今回の実施協議調査団において、先方との協議を通じて、プロジェクトが開始された場合の初年度における供与機材のリストの検討を行った。長期調査員の報告にも見られるように、同国の看護教育現場での教育機材は未整備の状態であり、早急な整備が望まれる。初年度計画はプロジェクトの拠点となるテグシガルパ准看護婦養成学校を中心に他の准看護婦養成学校に対する機材供与を実施することとし、その機材内容は基本的教材・機器に充てられることが検討される。また、プロジェクト中期以降には、看護教育の場において、より専門的な機材、書籍の充実・整備に向けられるとともに、看護教育におけるカリキュラムの作成・教育内容充実のための関連機材の整備が検討される。

更に、機材の調達方式は保守管理面及びスペイン語書籍の入手の容易さ等を考慮し、可能な限り、現地での調達が考慮される必要がある。

## 5. その他特記すべき事項

ホンデュラス国における看護教育に携わる大半の教師及び生徒は、母国語であるスペイン語を解するのみである点で、特に、日本人長期専門家はスペイン語に理解のある、かつ異文化理解のある人材の確保が必要である。今後5年間にわたるプロジェクト期間に係る人材の確保を十分に留意していくことがプロジェクトの成功に繋がるものと言えよう。

1990年8月17日付

矢野団長とホンデュラス国セサル・カステイヤーノ厚生大臣との間にて同国における看護婦養成強化プロジェクトの討議議事録が署名・交換されたことについての報道

17 DE AGOSTO DE 1990



• El ministro de Salud Pública, César Castellanos y el representante del gobierno japonés Masoko Yano, firmaron ayer un convenio por cuatro millones de dólares. (Foto Oswaldo Ramos C.).

## 4 millones de dólares para preparar enfermeras

**TEGUCIGALPA.**—Un convenio por más de cuatro millones de dólares para el fortalecimiento de la educación de las enfermeras, firmó ayer el Ministerio de Salud Pública con el gobierno de Japón a través de la Agencia Japonesa Internacional, JICA.

El objetivo del acuerdo es recibir del gobierno japonés asistencia técnica, becas, desarrollo de tecnología educativa, construcción, ampliación y mejoramiento de los centros de salud.

Mediante esta cooperación se pretende mejorar las teorías y métodos de la educación de enfermeras en áreas críticas, superar el programa de estudios, renovar y fortalecer las técnicas para la educación práctica en las áreas rurales y urbanas.

En la firma del convenio participaron el ministro de Salud, César Castellanos, Masoko Yano en representación del gobierno de Japón y la directora de la División de Enfermería.

資料 2. ホンデュラス国保健医療統計 (ユニセフ世界子供白書1990年版より)

	ホンデュラス	日本
乳幼児死亡率 (U5MR)	107 (1988)	8 (1988)
乳児死亡率 (1歳未満)	68 (1988)	5 (1988)
総人口 (100万人)	4.8 (1988)	122.4 (1988)
GNP/人 (ドル)	810 (1987)	15,760 (1987)
出生時の平均余命 (年)	64 (1988)	78 (1988)
成人総識字率 (%)	59 (1985)	.. (1985)
小学校就学率 (%)	106 (1986-88)	102 (1986-88)
低出生体重児の出生率 (%)	20 (1982-88)	5 (1982-88)
母乳育児の比率 (%)	(1980-87)	(1980-87)
3カ月	48	72
6カ月	28	52
12カ月	24	..
人口1人当たりの食糧生産の平均指数 (1978-81=100)	87 (1988)	..
人口1人当たりの毎日の必要カロリーの充足率 (%)	92 (1984-86)	122 (1984-86)
家族が総所得のうち食糧/穀類の購入に当てる支出比率 (%)	39 / .. (1980-85)	.....
安全な飲料水を確保できる人々の比率 (全国/農村/都市)	(1985-87) 30 / 61 / 21	.....
保健サービス入手できる人々の比率 (全国/農村/都市)	(1985-87) 73 / 85 / 65	.....
完全な予防接種を受けた比率 (一歳児) 結核	(1981/1987-88) 46 / 85	(1981/1987-88) 85 / 85
3種混合	38 / 74	.. / 83
ポリオ	37 / 70	.. / 95
はしか	38 / 76	.. / 73
妊婦に対する破傷風の接種	11 / 16	.. / 73
ORSの使用率	45.0 (1986-87)	.....
人口の年間増加率 (%)	3.5 (1980-87)	0.6 (1980-87)
粗死亡率	8 (1988)	7 (1988)
粗出生率	40 (1988)	11 (1988)
都市人口の比率 (%)	42 (1988)	77 (1988)
絶対的貧困水準以下の人口の比率 (%) 都市/農村	(1977-87) 14 / 55	.....
婦人指標		
出生時の平均余命 (男性に対する比率)	106.7 (1987)	107.6 (1987)
成人の識字率 (男性に対する比率)	95 (1985)	..
就学率 (男性に対する比率)	(1986-88)	(1986-88)
小学校	104	100
中学校	..	102
避妊法の普及率 (%)	35 (1980-87)	64 (1980-87)
保健員の付添いを得た出産の比率 (%)	(1983-88) 50	(1983-88) 100





JICA